

令和3年度あきる野市地域自立支援協議会 第1回全体会記録

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、書面開催

- 1 期日 令和3年6月21日（月）
- 2 出席者 藤間委員、加藤委員、高野委員、佐藤委員、堀越委員、小室委員、柳瀬委員
森田委員、源委員、深澤委員、樺山委員、石井委員、田中委員、志村委員
貝瀬委員、中島委員、川久保委員
- 3 議事
 - (1) 令和2年度あきる野市地域自立支援協議会事業報告案
 - (2) 令和3年度指定相談支援事業者事業計画（あきる野市障がい者相談支援センター）
 - (3) 各部会等の活動報告（令和3年2月～6月開催分）

令和3年度あきる野市地域自立支援協議会（第1回）全体会の書面議決の結果報告書

議案の表決：委員17名中、17名から下記の回答を得ました。

議案	承認・不承認の別	
1 令和2年度あきる野市地域自立支援協議会事業報告	承認：17名	不承認：0名
2 令和3年度指定相談支援事業者事業計画	承認：17名	不承認：0名
3 各部会等の活動報告（令和3年2月～6月開催分）	承認：17名	不承認：0名

上記の表の通り、第1号から第3号までのすべての議案について、過半数の承認をもって承認されました。

また、委員より下記の様な意見が挙がりました。

(1) 令和3年度全体研修について

特に意見なし。

(2) 令和3年度障害理解講座について

開催すべきである：3名・事務局に一任する：14名

- ・委員：個人的にはオンライン以外の方法やオンラインの内容の精査を十分に行った上で開催が可能か検討して頂きたいです。その上で、難しいと判断した場合は事務局へ一任いたします。

(3) 障がい者の差別解消に関することについて (ご報告)

- 委員：新型コロナ感染予防などの社会状況のなかで、潜在的に障がい者の差別や、生活のしづらさなどが考えられます。そうした課題を顕在化する必要があると思われます。
- 委員：コロナ禍でできることを取り組まれていて、すばらしいと思いました。
- 委員：コロナ禍で様々なイベントが中止になり、障がい者への理解が促進される機会が少なくなっているのは残念です。ワクチン接種がすすみ感染リスクが低減されたら、可能な範囲で取組を進めていただきたいと思います。

(4) その他

- 委員：今年度もイベント中止が予想されます。事業所の自主製品の販売ルートが少ないため、販売する場所がなく困っています。何か良い方法はないでしょうか？
- 委員：WEB参加でも可能です。
- 委員：あきる野市地域自立支援協議会の全体会も場所を確保すれば可能と思われます。オンラインも併用するなどご検討下さい。
- 委員：あきる野市障がい者計画の中で、関係する部分の“自立支援協議会の活性化”や“福祉人材の確保、育成”を図る上では、現時点でコロナが収まっていない状況の中、参加事業所および団体からの意見をどの様に集約し、検討、還元していくのか、仕組みづくりが急務と考えます。皆不安の中、他の所の様子や意見を聞きたい、話したいと思っているはずです。その媒体は、オンラインでもそれ以外でも構いませんので少しでも前に進める様に色々な方法を模索して欲しいし、スピーディに行って欲しいと思っっています。“楽しくワクワクする、様な活動でないと上記の目標は達成できないと思っいます。
- 委員：議案2に関する意見。事業計画書2ページ目の「5. 職員配置」に記載されている「指導員」という職種の呼び方について、指導する側、される側、という位置づけでは上下関係を連想させるので、別の呼び方があっても良いのではないのでしょうか。

以上